



**2022年6月18日
第49回 定時株主総会
事業報告**

ぴあ株式会社
PIA CORPORATION

▶ 2021年度 業績の概要

[1] 2021年度 業績の概要

- 1) 新型コロナウイルスによる、市場及び当社への影響
- 2) 2022年度以降の業績予想と今後の見通し
- 3) 財務諸表(要約)

[2] 2021年度の主な取り組み



1) 新型コロナウイルスによる、市場及び当社への影響

【市場概況と当社業績への影響】 ~コロナ影響による売上高の推移~



・ 2021年度は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が、12ヶ月中の9ヶ月にわたり発出され、集客エンタメ市場は前年に引き続き、停滞を余儀なくされた。



2) 来期業績予想と今後の見通し

【来期以降の業績予想と今後の見通し】

- ・ 2022年4月期以降の売上は好調に推移、コロナ禍前の8～9割レベルまで挽回。既存事業の回復とともに、新たな収益機軸の創出を図る。
- ・ 「ぴあアリーナMM」の稼働率(予約率)も堅調。
- ・ 2022年度(2023年4月期)の当社グループ連結業績は、売上高350億円(旧基準1,600億円)、営業利益7億円、経常利益4億円、親会社株主に帰属する当期純利益3億円となる予想。



2022年4月より新区分「プライム市場」へ正式移行し、新会計基準を適用

【連結】 前年比較

[単位:百万円]

	前年度(旧基準)	2021年度(新基準)	前年度差
売上高	67,355	※25,829 ※旧基準では1218億65百万円 (前年度比180.9%)	+54,510 (旧基準)
営業利益	△6,231	△833	+5,398
経常利益	△6,008	△845	+5,163
親会社株主に帰属する 当期利益	△6,664	△1,122	+5,539

3) 業績 ② 連結損益計算書



[単位:百万円]

	【前年度(旧基準)】	【2021年度(新基準)】	【前年度差】
売上高(※新基準)	67,355	(※)25,829 (旧基準比較)	+54,510
売上原価	63,888	17,483	△46,405
差引売上総利益	3,466	8,345	+4,879
販管費	9,831	9,179	△652
営業利益	△6,231	△833	+5,398
営業外収益	836	513	△323
営業外費用	613	525	△88
経常利益	△6,008	△845	+5,163
特別利益	-	-	-
特別損失	158	471	+313
税引き前当期純利益	△6,166	△1,317	+4,849
法人税等合計及び非支配株主利益	498	△194	△692
親会社株主に帰属する当期純利益	△6,664	△1,122	+5,542
包括利益	△6,667	△1,104	+5,563

3) 業績 ③ 連結貸借対照表

[単位:百万円]

資産の部		
	【前年度】	【2021年度】
現預金	15,135	24,361
売掛金	10,449	15,716
商品等	117	67
その他	5,205	2,708
流動資産：前年度比11,945増加		
流動資産	30,907	42,852
有形固定	13,030	12,258
無形固定	4,880	5,537
投資その他	3,965	3,949
固定資産：前年度比130減少		
固定資産	21,876	21,746
資産合計	52,784	64,598

負債の部		
	【前年度】	【2021年度】
流動負債：前年度比12,366増加		
流動負債	26,366	38,732
固定負債	24,508	23,058
負債合計	50,874	61,791
純資産の部		
資本金	4,924	5,942
資本剰余金	1,093	2,105
利益剰余金	△3,904	△4,999
自己株式	△216	△216
他包括利益	△45	△23
非支配株主持分	57	-
純資産合計	1,910	2,807
負債純資産合計	52,784	64,598



3)業績 ④連結キャッシュフロー計算書

[単位:百万円]

	【前年】	【2021年度】	【前年度比】
税引き前当期利益	△6,166	△1,317	+4,849
減価償却費	1,990	2,607	+617
売上債権の増減	1,257	△5,266	△6,523
仕入債務の増減	△16,336	13,143	+3,193
その他	△3,443	3,574	△131
利息・税金等	839	318	△521
営業キャッシュ・フロー	△21,858	13,058	+34,916
無形固定資産の取得	△1,360	△2,452	△1,092
その他	△2,803	△250	+2,553
投資キャッシュ・フロー	△4,163	△2,701	+1,462
財務キャッシュ・フロー	17,285	△1,132	△18,417
キャッシュの増減	△8,733	9,225	+17,958

三菱地所との合併会社「MECぴあクリエイティブ株式会社」を設立

集客エンタテインメントと街づくりの一体化を目的とした業務・資本提携に続き、今年5月には合併会社を設立。当社の得意とするエンタメ領域と三菱地所の街づくりのノウハウを融合した、独創的な事業を創出する。

設立日	2022年5月12日
資本金	5,000万円
株主構成	ぴあ49%、三菱地所51%
取締役	ぴあより2名／三菱地所より2名
事業内容	<p>集客エンタメ・コンテンツ領域における</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ イベントや興行の企画立案、実施 ■ 地域社会全体への波及効果の調査・活用 ■ 集客エンタテインメントと街づくりの連携、一体化に伴う、新たな収益・ビジネスモデルの確立 ■ 集客関連施設の開発、運営・管理業務の受託などの各種事業、サービス

ぴあ × 三菱地所



「東京2020オリンピック・パラリンピック」のチケットティングシステム&サービスオペレーション受託業務(TSP)を完遂

1年の延期を経て無観客開催となるも、期間中の全会場におけるチケットティング、ゲーティング業務も一括して受託し、ぴあ従業員を中心とした約250人のスクランブル対応により、一連の受託業務を無事完了。



バーチャル空間で新感覚ライブや交流が楽しめるプラットフォームアプリ「NeoMe」(ネオミー)を開発、5月よりダウンロードを開始

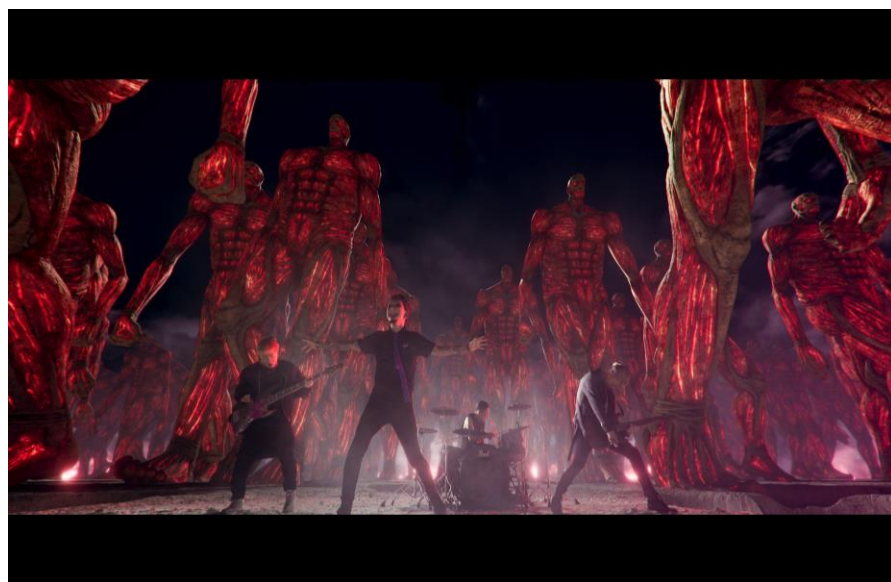
次世代を担う若手パフォーマーに対し、メタバースと呼ばれる仮想空間内にバーチャルな活動の場を提供。また、同じ趣味をもつユーザーどうしの交流の場を提供し、両者の新たなコミュニティづくりを支援する。



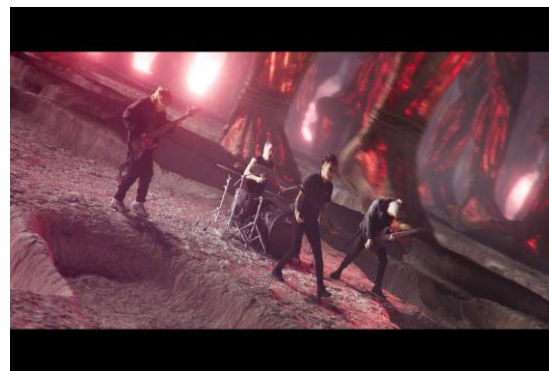
▲ユーザー一人一人がアバターとなって仮想空間を自由に歩き回り、バーチャルライブやユーザー同士の会話が楽しめるスマートフォン専用アプリ

事業のDX化に伴い、バーチャル映像専用スタジオの運営に参加。
XR事業の本格化に向け、コンテンツの制作をスタート

複数のクリエイティブ企業と共同で、バーチャルコンテンツ専門の収録スタジオ「HANEDA xR STUDIO」を開設。当社企画作品の第1弾として、人気アニメ「進撃の巨人」のタイアップ曲「The Rumbling」のミュージックビデオを公開、世界的に大きな話題に。



将来的には、年間30本程度のバーチャルライブやミュージックビデオを制作予定。グローバル市場への展開も視野。



▲SiM「The Rumbling」ミュージックビデオより
<https://www.youtube.com/watch?v=OBqw818mQ1E>



ぴあのオリジナルデータベースを活用した、デジタルメディア・データマーケティングサービス(DMS)事業を分社化。3月、ぴあネクストスコープ(PNS)を設立

PIA DMP



基礎データ群

会員データ

購買データ

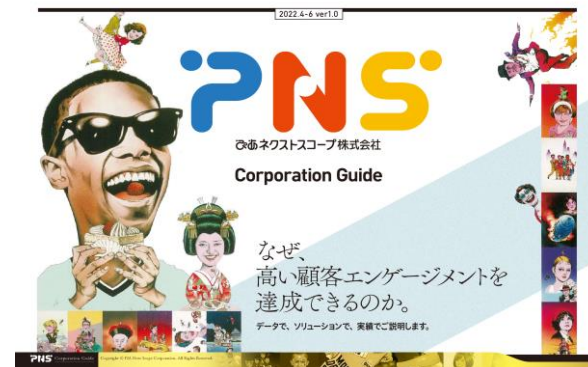
購入
プロセス
データ

行動
アクセス
データ

嗜好性
データ

取引先
クロス
データ

◀ チケット販売などの各種事業を通じて得られた膨大なデータを蓄積し、広告やソリューション向けに販売するサービス。



アプリ版「ぴあ」は、DMS事業との一体化により、イベントや商品の戦略的PRを強化。

各競技団体とのパートナーシップを拡充

これまでの様々なスポーツリーグや大会、チームのチケットング業務で培ったノウハウと経験を活かし、観客の満足度の向上や新しいファンの獲得など、「ファンエンゲージメント」領域でも取引先を拡大する。



公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)



一般社団法人日本女子ソフトボールリーグ機構(JD.LEAGUE)



一般社団法人ジャパンラグビーリーグワン

ぴあスポーツビジネスプログラム第2期がスタート

日本のプロスポーツ産業に必要な人材を育成する、ぴあ独自の教育プログラム(PSB)から、スポーツ業界に多彩な人材を輩出。



「ぴあスポーツビジネスプログラム」第1期修了式

コロナ禍でありながらも、エンタテインメントの持つ力を信じて徹底した感染防止対策を行いつつ、様々な公演・イベントを開催

【2021年度の主な当社の主催・共催イベント】



【音楽】ぴあフェス
(ぴあアリーナMM)



【音楽】MTV LIVE
MATCH(ぴあアリーナMM)



【音楽】オダイバ!! 超次元
音楽祭フェス2022
(ぴあアリーナMM)



【ミュージカル】SINGIN'
IN THE RAIN(雨に唄えば)



【ミュージカル】
ストーリー・オブ・マイ・ライフ



【イベント】
パンのフェス2022

大ベストセラーが登場。話題のMOOKや書籍も、様々なジャンルで発行



47万部



4刷

『森のカフェと緑のレストラン』



重版

『東京老舗名店』



3刷

『おとなが愉しむボードゲームの世界』



重版

『ルパン三世アニメ全史びあ』



重版

『ぴあMUSIC COMPLEX Vol.21』



重版

『PS純金〜やっぱり地元はオモシロイ!』

全国書店で売れ行き1位が続き、オリコンランキングで「上半期総合No.1」を獲得!



PIA Global Entertainment

ぴあグローバルエンタテインメント(PGE)では、コロナ禍にあっても、アジアを中心とする各国のイベンター・プロモーター・会場との交渉・契約を着々と推進中。



日本を巡回した「進撃の巨人展」を
東南アジア(シンガポール)で初開催



海外への展開を視野に入れ、
有楽町マルイで体験型アート展
「NAKED FLOWERS」を開催中

[2]2021年度の主な取り組み

⑧持続可能な社会の実現に向けて



SDGsをふまえ、「サステナビリティ委員会」を新設

創業50周年を機に、100年企業を目標として「企業行動憲章」を改訂するとともに、取締役会の下に「サステナビリティ委員会」を新設。集客エンタメ産業界全体を俯瞰し、当社ならではのさまざまな活動を通じて、引き続き、持続可能な社会の実現に取り組む。

【びあ総研】

2021年5月19日開催の「びあ総研」の模様です。

集客エンタメ産業による日本再生の意義

【1】基調講演
国際社会センター 横野もも子 氏
集客エンタメ産業の意義

【2】サステナビリティ委員会
集客エンタメ産業の社会的価値と、新たな地域貢献のあり方

中野 宏 氏
経田 雄行 氏
菅井 裕子 氏

【3】パネルディスカッション
集客エンタメ産業による日本再生の意義

新倉 豊一 氏
川崎 三郎 氏
武蔵野 昭 氏
吉田 茂一 氏
藤田 尚 氏
菅野 裕子 氏

2022.5.19 [木] 14:30~17:15 13:30開場
会場：チームスマイル・豊洲PIT
参加費：10,000円



集客エンタメ産業の“社会的価値”に注目し、初のシンポジウム「集客エンタメ産業による日本再生の意義」を開催。「ライブ・エンタテインメント白書2021」も発行。



【びあフィルムフェスティバル】
映画の新しい才能の発見と育成の
継続を目指し、2017年に
一般社団法人化



【チームスマイル】
東日本大震災からの復興支援
活動の継続を目指し、2012年に
一般社団法人化

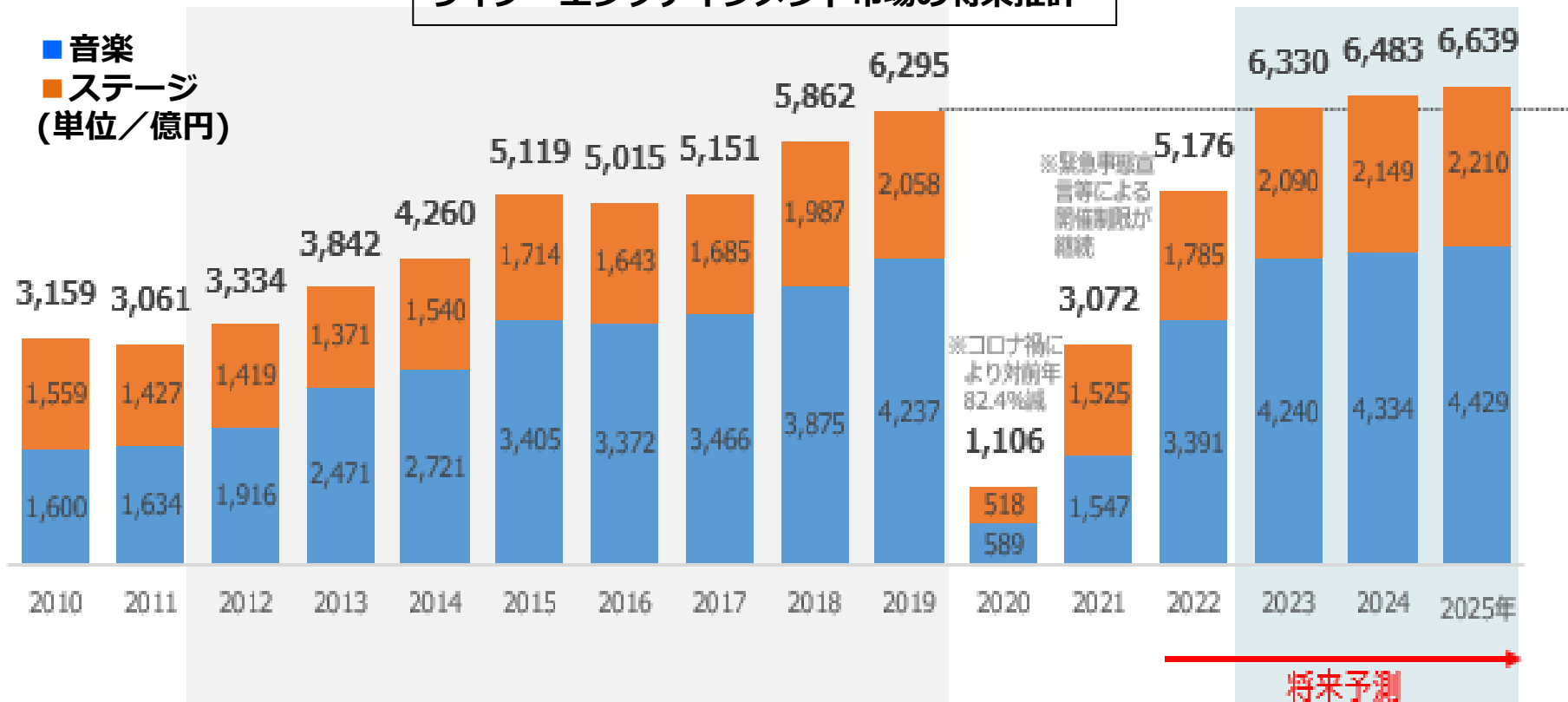
[2]2021年度の主な取り組み

⑧持続可能な社会の実現に向けて



ぴあ総研の調査・分析によれば、集客エンタテインメント市場は、2023年にはコロナ禍前の水準を上回るまでに回復するものと予測。

ライブ・エンタテインメント市場の将来推計



*2021年9月推計値

[2]2021年度の主な取り組み

⑧持続可能な社会の実現に向けて



新しい才能の発見と育成を目指すPFF(ぴあフィルムフェスティバル)は、43年の継続を経て、170人のプロの映画監督を輩出。

▶「第43回PFF」を開催



▶藤元明緒監督に「第3回大島渚賞」を授与



▶PFFアワード入選作やPFFスカラシップ作品が、次々と劇場公開



◀PFFアワード2021
グランプリ「ば
ちらぬん」(東盛
あいか監督)



◀第27回PFFスカラ
シップ作品「裸足
で鳴らしてみせろ」
(工藤梨穂監督)

[2]2021年度の主な取り組み

⑧持続可能な社会の実現に向けて



2011年の大震災直後よりスタートした、“心”の復興支援活動「チームスマイル」は、2022年12月末をもって社団法人としての活動を終了予定。各地の「PIT」は今後も存続する。



豊洲PIT



いわきPIT



釜石PIT



仙台PIT

【“わたしの夢”応援プロジェクト】

被災地の子供たちの夢の実現の後押しを目的とし、計24回にわたり、多くの著名人や専門家の方々を被災地に招き、東北でのワークショップや講演会を開催



香川真司さん



布袋寅泰さん



高橋尚子さん・金哲彦さん



茂木健一郎さん
柳家花緑さん



ぴあ50th

ありがとうございました。